

学校名 出水市立蕨島小学校

項 目	活動内容等
1 推薦機関が受賞候補校等を推薦する理由	<p>1 蕨島小学校は、出水市の西端に位置し、令和3年度に、「ラムサール条約湿地」に登録され、環境教育の充実に向けて、関係機関の協力を得ながら教育環境を整えている。具体的には、「田んぼの生き物探し」「野鳥観察（ツル観察を含む）」等の湿地を活用した活動や「ヒラメの放流」「海釣り体験」「シーカヤック体験」「海の生き物探し」などの海での活動を中心に、自然の中で体験的に学ぶ活動が充実している。その学習を通して、海岸清掃や地域の清掃活動など、環境保全にも努め、その様子をホームページやInstagramなどで積極的に発信している。</p> <p>このような活動は、環境保全の啓発につながる取組であり、他校の模範となる活動あると考え、推薦する。</p>
2 受賞候補校等の活動状況等	2-(1) 蕨島には豊かな環境資源があり、児童が郷土の自然に親しみ、環境保全や蕨島の魅力に関心を高めることを目的として始めた。
(1) 活動の動機・頻度	
① 活動を始めた動機及び開始年月	① 開始年月日は不明であるが、海岸清掃等は、平成5年以前から行っており、30年以上継続している。（平成5年 蕨島小百周年記念誌より）
② 活動の愛称名があれば記入して下さい	② 総合的な学習の時間 「蕨島環境調査隊」 5・6年 「みんなで守ろう蕨島！」 3・4年
③ 月間又は年間活動回数	<p>③ 総合的な学習の時間等・・・通年（7回程度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4月 地域清掃（蕨島環境調査隊） ・ 4月 海岸清掃（ヒラメの放流時） ・ 5月 リサイクル活動・清掃 ・ 5月 海岸清掃（海の生き物探し） ・ 11月 地域清掃（蕨島の魅力大発見！） ・ 2月 海岸清掃（蕨島の魅力を伝えよう！） ・ 3月 地域清掃（お別れ遠足） <p>（5・6年 総合的な学習の時間 65時間） （3・4年 総合的な学習の時間 65時間）</p>

項 目	活動内容等
④ 活動のエリア	④ 蕨島の海岸（蕨島東海岸） 蕨島集落内 ツル観察センター周辺
⑤ 活動1回当たりの 平均参加者数	⑤ 全校児童 16人 教職員 6人 地域の方 3人
⑥ 活動1回当たりの 平均時間	⑥ 60 分間
⑦ 収集物の処理	⑦ 回収後学校で分別する。 収集ごみは「燃やせるごみ」と「燃やせないゴミ」 に分別し、ごみステーションに出す。
(2) 活動の独創性 活動の特徴	(2) 蕨島小周辺は、ラムサール条約湿地に登録されて おり、ツルをはじめ多数の野鳥が生息している。ま た、野鳥のえさとなる生き物も数多く生息してい るため、海岸清掃をはじめ、地域の清掃活動は、生 物の生態系を守る意義のある活動となっている。蕨 島の魅力を学び、発信する学習の中で、環境保護は 切り離せないものとなっている。 また、野鳥の観察には、環境省の職員や出水市ツ ル博物館クレインパークいずみの主任学芸主事を 講師として招き、なぜ野鳥がこの地域に生息してい るのかなど、環境学習も含めた活動をしている。
(3) 地域への貢献度 ① 地域の環境美化 への貢献	(3)－① 蕨島では約 50 世帯ほどの地域住民が暮ら しているが、高齢化が進んでいる。一方で、日本 有数のツルの飛来地でもあり、ツルの観察等に 訪れる観光客が後を絶たない。地域の清掃活動 を行うことで、生態系を守るだけでなく、蕨島 の景観を保つことにも貢献している。
② 地域住民との協力 活動	② 地域の方に、「海の活動（ヒラメの放流・海の生き 物探し等）」の中で、海に生息する生き物について教 えていただき、その後、一緒に海岸清掃に取り組ん でいる。
③ 児童・生徒の活動に 対する地域住民の 反応	③ 特認校であり、校区内在住の児童が少なくなっ ている。そのため、地域住民は、児童と一緒に活動す ることや、子供たちが地域のために清掃活動に取り 組んでいることを喜んでいる。

項 目	活動内容等
(4) 環境教育との関連 ① 環境教育と活動との結びつき	(4)－① 蕨島の自然について知り、野鳥の学習や地域の清掃を行うことで、これらの活動が生態系を守ることに繋がっていると実感している。また、蕨島の魅力を伝える活動にも学習が広がっている。
② 活動開始後の児童・生徒の美化意識の変化	② 海岸には様々な地域からのごみが流れ着いていることを知り、ポイ捨てが自然環境を悪くしていることを実感している。海岸清掃や地域の清掃をすることで、ごみの散乱防止、環境の保全・改善に努めようとする意識が高まっている。
③ 当該活動以外の環境教育実践活動	③ ○ 朝のボランティア活動 ・ 登校した児童から順に、学校の玄関や教室など掃除を行う。 ○ 環境タイム（月3回） ・ 昼休み終了後、自然環境に関する気付きや自然の変化を観察して、ロイロノートで観察記録にまとめている。 ○ 緑化タイム ・ 月1回、学校の除草作業などに全校児童で取り組んでいる。 ○ ヒラメの放流 ・ ヒラメの稚魚を放流することで、水産資源を守る活動を行っている。 ○ リサイクル活動 ・ P T Aと連携して、空き缶、紙類、一升瓶、段ボール等を集める活動を行っている。
(5) 当該活動で他の表彰を受けたことがありますか （受賞年月日と表彰機関名）	(5) なし
(6) 校内外活動のための時間の作り方	(6) 他教科の学習と関連付けたり、日課表に位置付けたりすることで時間を確保している。
3 その他特記事項	3 特になし

出水市立蕨島小学校環境美化教育活動報告書

1 活動名

蕨島環境調査隊・生き物いっぱい蕨島

2 活動目標

蕨島の自然環境等の魅力について調べる活動を通して、蕨島の魅力について理解し、持続可能性の視点から未来の蕨島のために何ができるかを考えるとともに、自分たちの生活や行動に生かすことができるようにする。

3 活動内容

(1) 環境を知る活動

- ・ 地域環境の実態把握
- ・ 生き物探し体験・野鳥観察
- ・ 地域人材の活用
- ・ 環境タイム

(2) 環境を守る活動

- ・ 地域の清掃活動
- ・ 海岸清掃
- ・ 緑化タイム、地域の花壇の苗植え
- ・ ヒラメの放流
- ・ 野鳥の巣箱づくり

(3) 環境を生かす活動

- ・ リサイクル活動
- ・ 朝のボランティア活動

4 活動回数

- ・ 4月 地域清掃（蕨島環境調査隊）
- ・ 4月 海岸清掃（ヒラメの放流時）
- ・ 5月 リサイクル活動・清掃
- ・ 5月 海岸清掃（海の生き物探し）
- ・ 11月 地域清掃（蕨島の魅力大発見！）
- ・ 2月 海岸清掃（蕨島の魅力を伝えよう！）
- ・ 3月 地域清掃（お別れ遠足）

（1・2年 生活科 105 時間）

（5・6年 総合的な学習の時間 65 時間）

（3・4年 総合的な学習の時間 65 時間）

5 活動の様子

(1) 環境を知る活動

ア 地域環境の実態把握（蕨島を巡りながら、蕨島の環境を把握する活動）

地域を探検し、蕨島の環境を知る。その際に、清掃活動も取り入れた。



イ 生き物探し体験・野鳥観察（海の生き物・湿地の生き物について知る活動）



ウ 地域人材の活用（地域の方から蕨島の環境について教えていただく活動）

地域の方を招き、蕨島の環境について教えていただいた。また、海の生き物探し体験で見つけた天草でところてんを作り自然の恵みを味わった。



エ 環境タイム（蕨島の自然の移り変わりを知る活動）

月に3回環境タイムを設置し、自然環境での気づきを観察記録にまとめた。



(2) 環境を守る活動

ア 地域の清掃活動

地域を回り、空き缶やたばこのごみなどを集めた。



イ 海岸清掃

海での活動の後、海岸清掃を行った。



ウ 緑化タイム・地域の花壇の苗植え

毎月一回の緑化タイムを設定し、花壇の手入れや除草作業を行った。また、地域の花壇の苗植えも地域の方と協力して行った。



エ ヒラメの放流・野鳥の巣箱づくり

約 9000 匹のヒラメを学校近くの海岸から放流した。自分たちが清掃した海岸からヒラメの稚魚が泳ぎだす姿を見て、環境保全への意識がさらに高まった。また、野鳥を守るため、巣箱づくりも行った。



(3) 環境を保全する活動

ア リサイクル活動

地域・保護者の協力のもと、リサイクル活動を行った。ごみがリサイクルされることを知り、ごみの分別の意識が高まった。



イ 朝のボランティア活動

環境について学んだことで、自発的にボランティア活動に取り組む姿が見られた。



6 まとめ

環境教育と環境美化を関連させることで、なぜ、海や地域の環境をきれいにしないといけないのか考えるとともに、自分たちの問題として捉え、美化活動に取り組む姿が見られた。蕨島の魅力である豊かな自然を未来へつなぐため、今後も、総合的な学習の時間を中心に、環境美化活動にも主体的に取り組もうとする児童の育成を目指して、環境教育の充実を図っていきたい。